

健やか



春日井市立柏原中学校
保健だより
平成 25 年 7 月 11 日

蒸し暑い毎日が続きますが、そんな中でも、授業や部活動にがんばっているみなさんはとても素晴らしいです。

さあ、もうすぐ夏休みです！リズムある生活で元気に夏を過ごしてほしいと思います。そして、2 学期も元気なみなさんに会えることを楽しみにしています。

1 学期を振り返って



1 学期の 1 日あたりの平均欠席者数は 17 名(昨年度 22 名)、平均遅刻者数は 5 名(昨年度 11 名)、平均有症登校者数は 25 名(昨年度 27 名)でした。

【図 1】

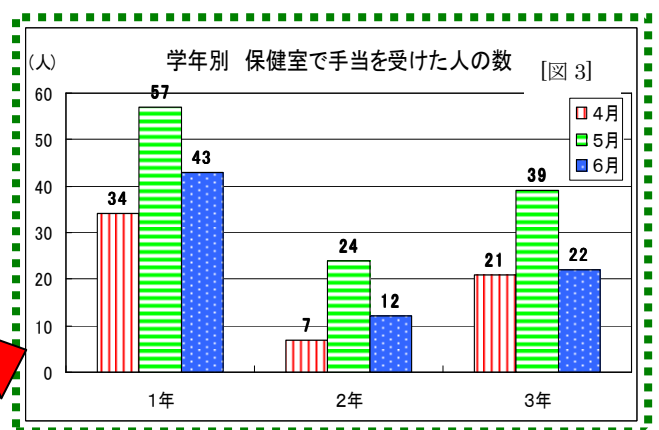
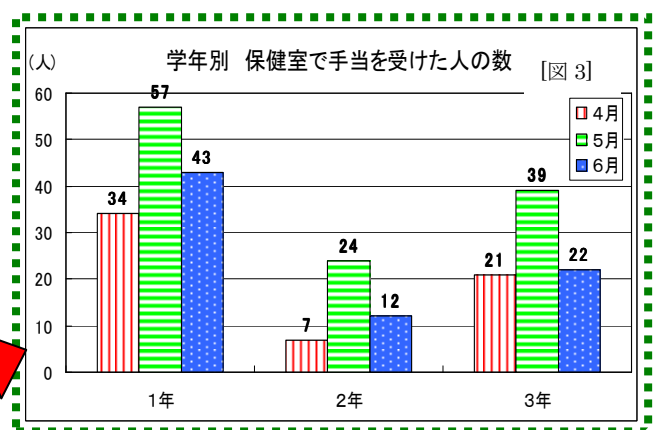
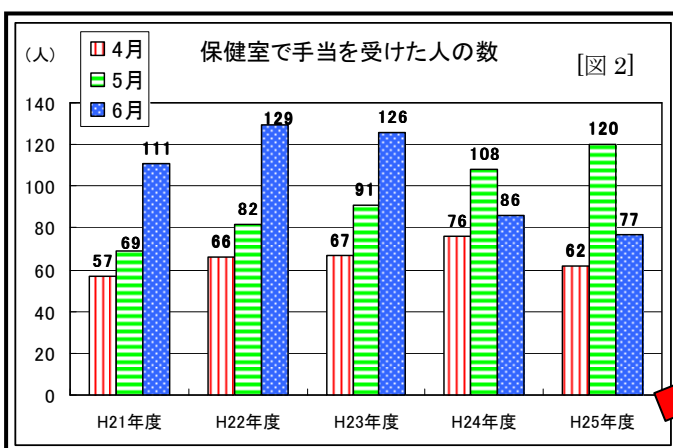
欠席者、遅刻者、有症登校者すべてにおいて昨年度より減っていました。

保健室来室者は、昨年度と比べて減少傾向にありますが、5 月のみを見ると今年度の利用者は、昨年度に比べ 12 名増えていました。【図 2】

学年別に見ると 1 年生の利用が多く見られました。【図 3】

保健室ではみなさんが自分や周りの人の「体・命・心」を大切にしてくれることを願っています。

保健室の利用状況



定期健康診断が終了しました。身体測定や各種検診の結果については、個人懇談のときにお渡ししました個票をご覧ください。なお、検診の結果、治療や詳しい検査の必要な人へは、検診終了ごとに文書でお知らせしています。用紙をもらった人は早めに受診しましょう。夏休みを利用して受診するのもいいですね。用紙をもらわなかった人は受診の必要がない人です。さらに健康に気をつけて生活しましょう。

3年生学校保健委員会「薬物乱用防止教室」★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

輝け！いのち ～自分の体・心・命を大切にしよう～

6月20日（木）2時間目、3年生を対象に学校保健委員会「薬物乱用防止教室」を行いました。愛知県警察本部少年課少年育成係の田中正夫さんから、DVDを使って薬物乱用の害などについてお話していただきました。DVDでは、二人の男性が自分の薬物乱用体験を語ってくれました。

口から泡を吹いてけいれんをおこしても、おさまればまた薬を求める体になってしまっていた。やめようと思ってもやめられない。



10年前に数回薬物乱用をしたことのある女性が、手からゴキブリがはい出す幻覚に襲われ、熱い油の中に手を突っ込んでしまった。



二人の体験談からは、薬物の依存性や耐性、フラッシュバックの恐ろしさを感じました。

私たちの一番身近な薬物はタバコとお酒です。これらは薬物乱用者の多くが最初に使用する薬物（ゲートウェイドラッグ）と指摘されています。かけがえのない体・心・命を守るためにも、「薬物には絶対に手を出さない！」「誘われてもきっぱり断る！」ことの大切さを学びました。

3年生 ～感想の紹介～

薬物は身近なところに名前を伏せて売られていて、誰でも買うことができるから危険だということがわかった。友達とかに誘われたとしても、きっぱり断ることが大切だということがわかった。薬物は人の人生を狂わせるからダメだと思った。

<3の3 女子>

薬物を使ったとしても、自分の意思でやめられると思っていた。しかし、薬物が体を支配し、薬物がないと生きていけなくなるので、とても恐ろしいものだと思いました。

<3の4 男子>



薬物は取り返しのつかなくなるものだというのが、しっかりわかった。薬物にはいろいろな種類や名前があり、いろいろな誘惑をしてくることがわかった。どんな誘惑にも負けないようにしたい。<3の6 男子>

お腹を痛めて生んでくれた親のためにも、なにがあっても、薬物には手を出してはいけないなと思いました。<3の7 女子>

10年も前に2、3回使っただけの薬物で、幻覚が見えるとは知らなかった。絶対に薬物は使ってはいけないと改めて思いました。

<3の5 女子>

お金があれば、インターネットを使って、簡単に薬物を手に入れられることがわかった。幻覚が見えたり、一度使うとやめられなくなったりするから怖いと思った。<3の1 男子>

昨日の新聞で、薬物の液を染み込ませたジャンパーを郵送で送っていたという記事を見ました。今回の話を聞いて、こんなに恐ろしいものが身近に出回っていると知り、自分も注意しなくてはならないと思いました。薬物だけでなく、タバコやお酒にも気をつけようと思います。

<3の2 女子>

～保護者の方から～

子どもが簡単に薬物を手に入れられるのは怖いと思いました。それを阻止するのは自分の意思一つなので、誘惑や自分の弱さに負けないで、絶対薬物に手を出してほしくないです。

親としても子どもの変化に気づくことが大事だと思いました。自分の体を大切にしてほしいです。

始める時は軽い気持ちでも、やめる時は相当の覚悟がいる。やめても完全に身体から出ていくことはない。

今日の話が子ども達の頭に、心に残って、将来薬物の誘惑に負けないでほしいと思います。